

ママ力 × PTA会長座談会

身近な参画の場としてPTAがありますが“学校や子どもたちのために役立ちたい”という気持ちから、果敢に会長職を務めている女性5名にお集まりいただきました。挨拶を始めとする会長ならではの悩みや、活動に関するパワフルでたおやかな意見や思いをお聞きました。 2009年11月13日(金)／総合保健福祉センター

いわき市内の女性の参画状況 2009.4.1現在

市議会議員	12.5%
委員会審議会等	26.6%
市の管理職	1.8%
PTA会長 (小中学校／2009.10.1現在)	9.7%
行政嘱託員	2.5%

コレで安心♪ 挨拶のポイント

- ✓ 会の名称は間違えない
- ✓ 会の目的をつかんでおく
- ✓ 準備して下さった皆さんへの御礼
- ✓ 会の成功を祈念する

リーダーの極意!!

弱音は吐いても
愚痴は言わない

十一月十三日(金)
from 飯間 さん



ケアマネジャー
大井川 浩子 さん
子ども3人

主婦
佐藤 美樹 さん
子ども3人

保育士
緑川 恵子 さん
子ども2人

酪農業
中山 くにえ さん
子ども2人

看護師
西山 美恵子 さん
子ども3人

アドバイザー
飯間 香保子 さん
子ども4人

教職歴37年、中学校長を歴任。
現在、日本赤十字社福島県支部・
指導講師、福島県男女共同参画事業
グローバルサポーターとして活躍中。

保坂:PTA会長を引き受けた時の気持ちをお聞かせ下さい。

中山:小規模な学校で小中学校一緒に活動なのですが、何年か前から女性が会長をやってもいいのでは、という話も出ていました。地域との関わりが深いので、地元出身ではない私が引き受けていいものかと半月以上悩みましたが、子どもが中3と小6で卒業するということで、恩返しの気持ちで決断しました。

佐藤:緑の下の力持ち的な感じで役員を受けてみたら、530人を前に挨拶する会長になってしまいました。活動は自分が楽しめないといけないと思うので、前女性会長に教わりながら楽しくやっていますが、専門部署の苦勞を知らないままなってしまったという感じです。

西山:24才の長女が小2の時から、学校・部活・子ども会と掛け持ちしていた時期を含め16年間役員をしています。高校の会長も自分に回ってきた役なのだと考え、躊躇なく引き受けました。しかし、挨拶が苦手で悩んだ時期もありました。本当に緊張ですよ。仕事は好きですが、人の前に立つのがだめなんです。

緑川:夫は土日仕事なので学校へ行くのも私、子育ても私、家事も私、ぜんぶ私。仕事をしながら年老いた母の世話もありますので、会長は断っていましたが、「仕事も家庭も両立するならいいよ」と家族の了解を得て引き受けました。日曜や夜も会議などが多く大変ですが、やりがいもあると思います。ただ、子どもの学年が下なので肩身が狭いと感じることもありました。

大井川:他県育ちで、学校の周りの環境などよく分からないまま軽い気持ちで引き受けたのですが、実際のものすごく大変で眠れないこともありました。3代前の会長が女性でいろいろアドバイスして下さり、周りの皆さんの温かい支援や、先生方も協力して

下さるので気持ち的には軽くなってきました。

保坂:女性であるがゆえに、苦勞したことや助けられたこと、また、人間関係など活動を通して感じることはありますか。

緑川:研究大会など車で行く際、男の先生と二人きりだとマズイとか言うんです。こっちも負けずに「じゃあ別々に行きましょう」って言うんです。また、夜の会長会など「よく出てこられたね」と言われるのですが、家庭のことはちゃんとこなして出ているので、そういうのイヤですね。

中山:お母さん方に支えられここまでできたかなと思います。小さな学校なので、運動会・文化祭も保護者の参加がないと成り立ちません。そういう中で、協力してくれる人がある、PTA活動をやらなくては、頑張らなくては、と思ってくれる人がいるんだと思うとやって良かったなと思います。

西山:人間関係で苦勞したことはないですね。お母さんたちの力はすごいんです。PTAと生徒会一緒に行事でゴミ拾いの後、豚汁を作ったんですが、予算以上のことができ、男性が会長だということ段取りはできないと思います。「最終的な責任は自分がとるので全部やってみて下さい」とお願いするのがいいと思います。その方がお母さんたちも全力を尽くしてくれます。

保坂:総会や行事などの工夫・課題をお聞かせ下さい。

佐藤:目標をもった行事を運営していこうということで、ボロボロになってしまった6年生の陸上大会用ユニホームを新調するため、昨年からバザーを復活しました。今年も予定しているのですが、インフルエンザの影響がドキドキで、ただ、行事も今までの流れでやると先細りの感が出てきますね。それと力強い存在として

“親父の会”があり、行事などで各自分担してできることをやる点がとても運営しやすいですが、現役会員が少ないんです。

大井川:PTAの引き継ぎを総会の中で行います。ですから、出席率を上げるため授業参観を絡め4月の祝日に開いています。最近半数を超える方が来てくれるようになり、とてもありがたいです。また、文化祭では卒業したPTA役員OBの方が、PTA出店の模擬店や生徒会の販売も協力して盛り上げて下さり、すばらしいなあと思ったんですね。

保坂:これからの目標をお願いします。

緑川:子どもを巻き込まないと親は学校へ出てこない。そこをどうやって出てきてもらい、どうやってPTA活動に参加していただくかと考えているんです。今の時代大変なのは誰も一緒ですから、みんなで理解し合って一人でも多くの方につなげていけたらいいと思います。

西山:学校での子どもたちの楽しい生活や笑顔を、是非、見てほしいという思いがあります。お母さんやお父さんに、どんな形でも学校に足を運んでもらい子どもの姿を見てほしい。そして、どんな方にも楽しくPTA活動をやっていきましょうというのが目標です。

中山:総会などの出席率は90%あります。皆さん協力的ですが、少し活気がないのかなという感じはします。例年通りの行事で増えるも減るもなく。ですから、学校にどんどん足を運んでいただき、もっと活気あるPTA活動になるよう提案をおいていけたらと思います。

佐藤:一人一役制度が確立しており、それを力にして楽しくやっていきたい。やはり楽しくやらなければ続かないので。そして学

校を巻き込んで、先生や保護者の意識をいかに“みんなで”と言う方向にもっていき活動するかが目標です。

大井川:子どもも私もこの高校が本当に好きなんです。学校が好きだから、皆さんに学校の良いところを発信したいと思いました。事あるごとに、うちの学校はこういうことをやっていますよ、とかね。みんなの協力の中で感謝と共に司令塔になっていきたいと思います。

保坂:ありがとうございました。同じ立場の方々にお話をいただき、思いが一つになり、意義があったのではないかと思います。それでは、飯間先生からアドバイスをお願いします。

飯間:人間は、一人だけでは何もできません。小さくてもいいからプラスの人間になり、それを大きくしていきましょう。そして、PTA組織の中で次に続く人を育てることを忘れないで下さい。もう一つは、やっていることを楽しみましょう。イキイキやっていると、みんなついてきてくれます。男女お互いに助け合い、より輝いていけばいいなあと思います。

座長 | いわき市男女共同参画センター所長
保坂 眞理光